



○平成 29 年度の集団宿泊学習がスタートしました！

県下公立中学校 37 校の先頭を切って、5 月 10 日（水）から 2 泊 3 日の日程で、三豊市立仁尾中学校の 1 年生 65 名が集団宿泊学習でセンターを利用しました。生徒さんは仲間と寝食を共にしながら、「グリーンアドベンチャー」、「天体観測」「野外体験学習」、「野外炊事（冷やしうどん）」、「キャンドルサービス」等の活動に真剣に取り組み、ひとまわりたくましくなったようです。センターでは 12 月中旬まで約 6,200 名の集団宿泊学習の生徒さんを受け入れ、心豊かでたくましい人づくりを支援していきます。



○野外炊事の「焼きそば」指導研修を実施しました！



5 月 17 日（水）、10 名のセンター職員が参加して、利用団体への「焼きそば」指導の技能向上を目的に指導研修を実施しました。かまどの石積方法、食材の大きさ、薪の投入量、火加減調節、作業手順、人員・時間配分などを確認しました。

シリーズ 自然科学展示室①

<ナウマンゾウの化石>

ナウマンゾウは日本に生息していた肩高約 3メートルの象で、約 40 万年（約 60 万年の説もある）から約 2 万年前に生息し、現生のアジアゾウと近縁で、全身が体毛に覆われていたと考えられている。明治時代に日本の象の化石を研究したドイツ人学者ナウマンにちなんで名づけられた。瀬戸内海では漁網によって化石が引き上げられることから、瀬戸内海が陸地だった頃にナウマンゾウが生活していたことがわかる。自然科学展示室では下顎骨や牙、大腿骨、肩甲骨など複数の化石を展示しており、ふれてみようコーナーでは実際に手で触ることもできる。

